

令和6年度第6回運営推進会議 議事録

事業所名（種別）	大泉学園さくらの家		
所在地	練馬区大泉学園町7-19-17		
開催日時	令和7年2月22日 土曜日 14:30~15:00		
開催場所	ケアヴィレッジ こぶしの家 101号室		
出席者内訳	利用者	0名	
	利用者家族	3名	
	民生委員・町会役員・地域代表	1名	
	知見者	0名	
	練馬区・地域包括支援センター職員	0名	
	事業所職員	2名	さくらの家管理者 やまぼうし管理者
	その他	〇名	
議題 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	さくらの家のご報告		
報告内容 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況について 要介護度1の方が3名、2の方が7名、3の方が8名入所しており定員いっぱいの状態。 ・職員状況について 常勤職員が13人、パートが6人、派遣が1人の計20人。 ・1月と2月の行事について 誕生日会が1月に3回あった。それぞれ利用者の誕生日当日にケーキと贈り物をしている。 1月11日に新年会を行い、大きなボードを使った福笑いを行った。そのほか、年明け直後には書初めを行い、利用者の書いた書道をフロア内に掲示した。 2月2日には節分を行い、鬼に扮した職員に、利用者が小さなパックに入った豆を投げてもらった。また、食事には寿司を提供した。 ・研修について 1月と2月のケア会議でそれぞれ「介護でのコミュニケーション方法」、「職員のストレスケア・メンタルヘルス」の施設内研修を実施した。認知症高齢者に対する円滑なコミュニケーション方法の学習をしたほか、ストレスケアではセルフチェックを、チェックリストを用いて職員自身に行ってもらった。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内で発生したヒヤリハットについての報告 ・施設内で発生した事故についての報告 <p>上記2点については別紙のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関による第三者評価が実施された。結果の公表は後日になるので、また改めてご家族には結果の確認方法についてアナウンスを行う予定。
出席者からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・（節分の写真を見て）桶の寿司は雰囲気があって良い。 ・今月から写真付きで母の様子を書いた紙を送ってもらえるようになり、生活の状況が分かって良い。GHにするか特養にするか迷ったが、特養で病院的なケアを受けるよりは、GHのように個室でより日常生活に近い形で日々を過ごしてもらった方がいいと思った。10日に1回くらい外出に連れて行っているが、外出するとGHの生活のことを忘れてしまって、戻るのに不安がある様子だが、ここの職員の方がうまく誘導してくれるので助かっている。同居している時はいざこざがあり、互いに微妙な気持ちで過ごしていたが、離れて生活するようになり母のことを愛おしく思えるようになったのでそれは良かった。
要望、意見および助言と事業所の回答	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護度4以上の方が全くいなくなったが、意図したものか。 <p>→意図的なもの。以前はADL全介助の方も受け入れていたようだが、GH本来の役割を考えて、歩行ができ家事に参加できる方の入所を受け入れるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離設にはどのようにして気づいたのか <p>→2回あったが、1回目は夜勤者が出勤したときに偶然発見、2回目はフロアの職員が出ていくところを目撃した。</p>
その他	<p>練馬区より</p> <p>急激な温度変化によるヒートショックへの注意をするように。ヒートショックは浴室や洗面室、トイレ等で起きやすいとされており、自宅だけでなく事業所でも注意が必要。</p>
次回の開催予定	<p>日時：令和7年4月26日 土曜日 14:30～15:00</p> <p>場所：ケアヴィレッジ こぶしの家101号室</p>